

2019年8月22日

神戸市役所 トップマネジメントセミナー 講演資料

# アシックスが取り組む健康経営

～心身ともに健康な状態を目指して～

株式会社アシックス  
Well-being Committee



# AGENDA

1. アシックスグループの概要
2. アシックスの健康経営
  - ・概要
  - ・取り組み

# AGENDA

## 1. アシックスグループの概要

## 2. アシックスの健康経営

- ・概要

- ・取り組み

# 会社概要

- 社名：** 株式会社アシックス  
**創業：** 昭和24年9月1日 神戸市にて創業  
**資本金：** 239億7千2百万円  
**事業内容：** 各種スポーツ用品等の製造および販売  
**従業員数：** 8,823名（連結 2018年12月31日時点）  
**子会社：** 国内7社 海外47社（2018年12月31日時点）



創業当時の看板  
社員4名で鬼塚株式会社を設立



第1号バスケットボールシューズ（1950年）

# PHILOSOPHY

## 創業者の思いが、社名ASICSの由来となっている

創業哲学

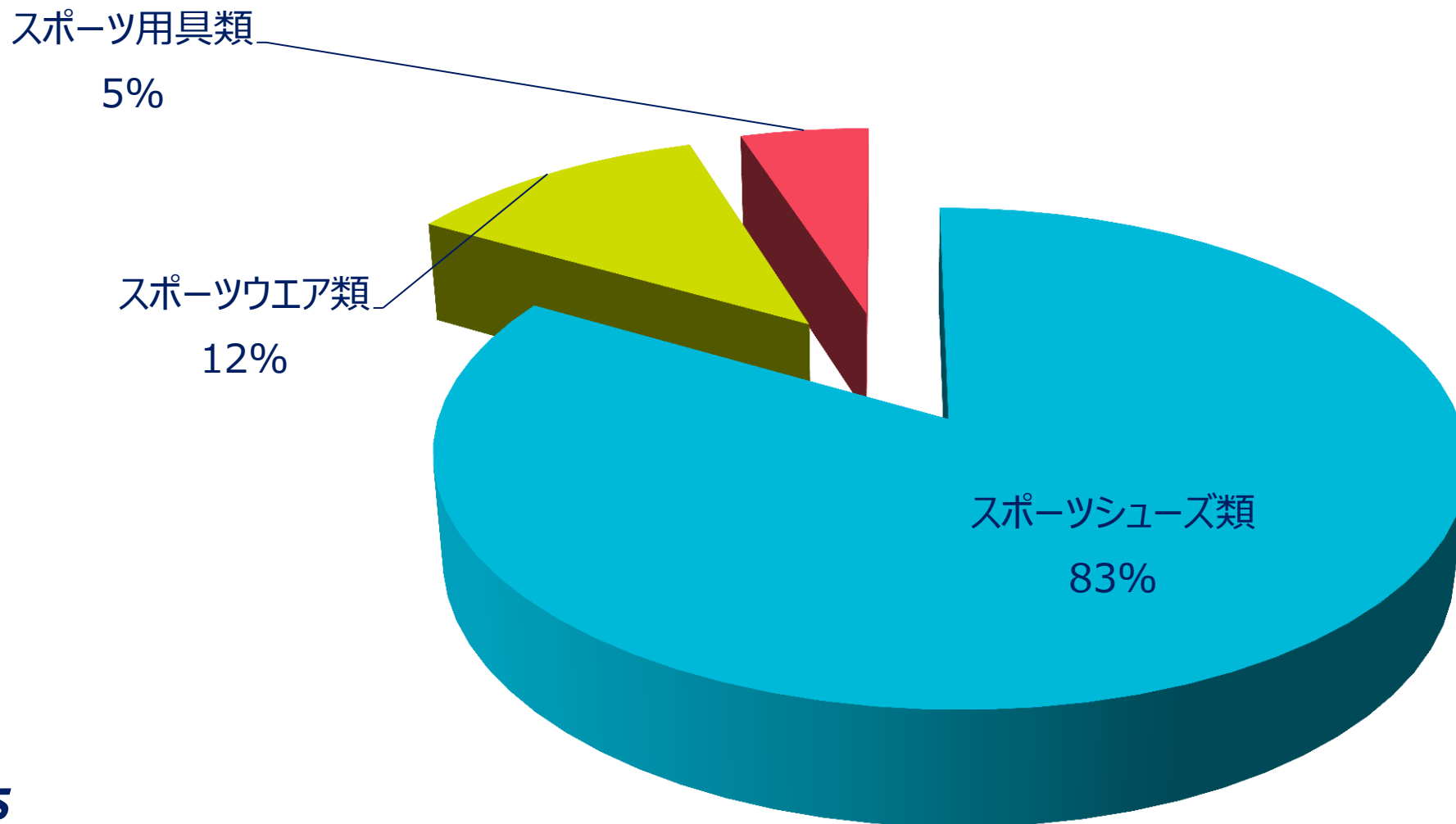
### 健全な身体に健全な精神があれかし **Anima Sana In Corpore Sano**

鬼塚喜八郎は、戦後の青少年が進むべき道を失っていた時代、「若者に夢を与えることができる事業を興したい」という想いを抱いていた。時を同じくして、ユベナリスの名句「健全なる身体に健全なる精神が宿れかし（Anima Sana In Corpore Sano = A Sound Mind in a Sound Body）」に出会い、感銘を受ける。

スポーツは心身をバランスよく育むことができると気付き、青少年の健全な育成に貢献できるスポーツに、人生を捧げることを決意した。

# カテゴリ別内訳

売上高 3,866億円 (2018年12月期)

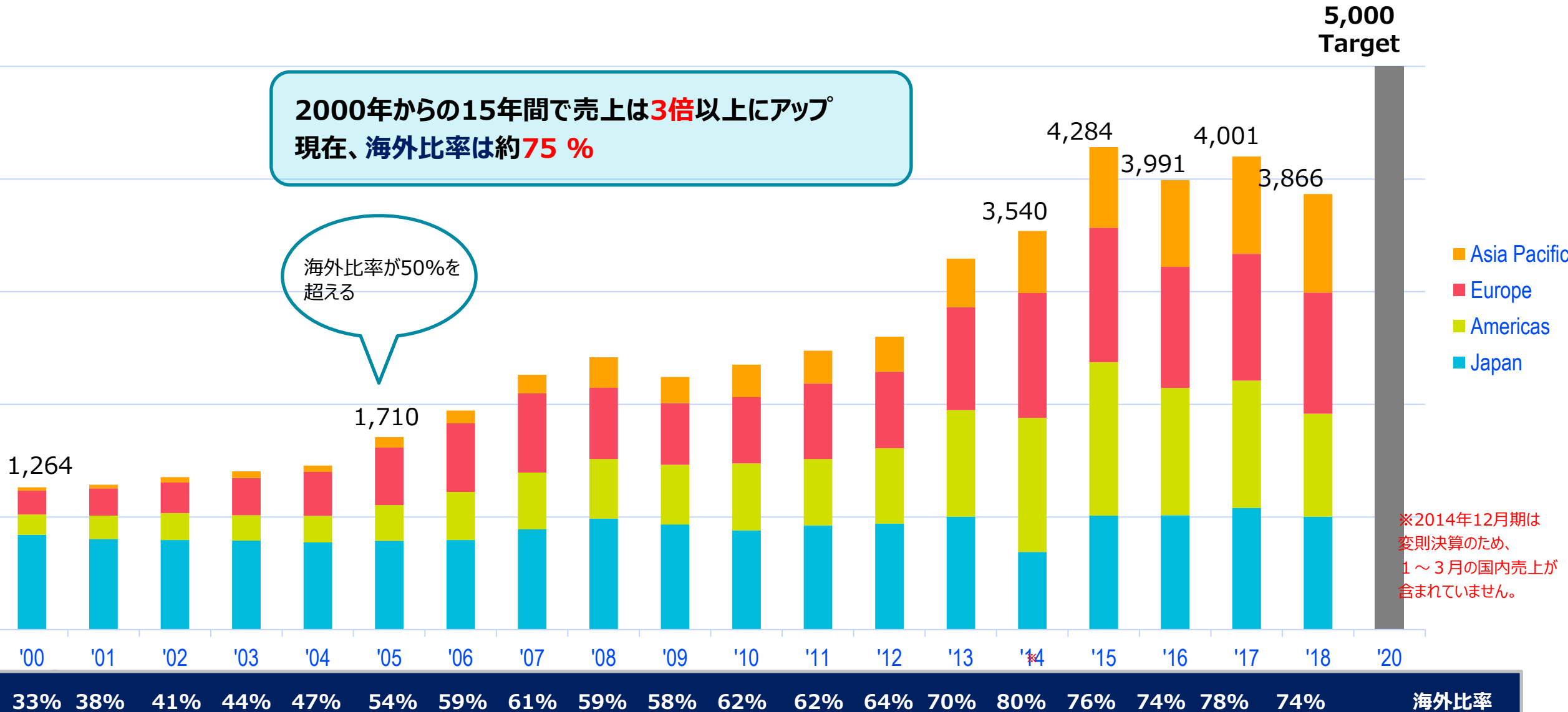


# BUSINESS

単位：億円

2000年からの15年間で売上は**3倍以上にアップ**  
 現在、海外比率は約**75%**

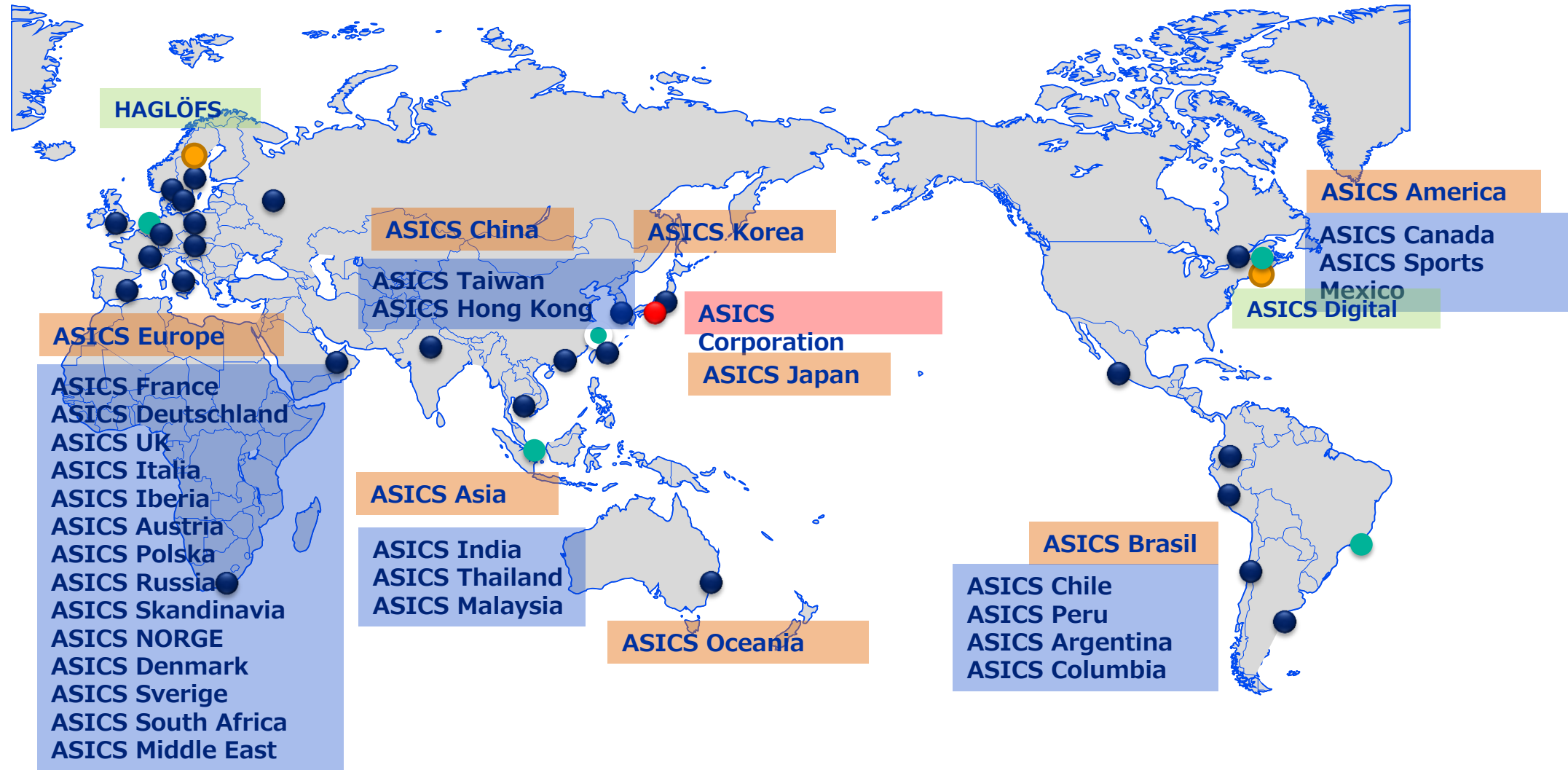
海外比率が50%を  
 超える



# GROUP

国内7社、海外47社

欧州、北米、南米、米州、東南/南アジア、オセアニア、中華圏、韓国、日本





# PRODUCTS

## アスレチックスポーツ事業領域



## スポーツライフスタイル 事業領域



## WORKING PRODUCT



## 健康快適事業領域





健康快適事業領域

## 機能訓練特化型デイサービスTryus（トライアス）

### 健康維持を目的としたサービスの実施

- ・要支援1,2および要介護1,2の認定者を主な利用者とし、それ以上重度の介護状態にならないことを目指す
- ・身体と頭を同時に活性化させる「デュアルスパーク」という当社独自の運動サービスプログラムを活用

「Tryus（トライアス）西宮」





健康快適事業領域

## ウォーキングシューズ

1983年スタート。

スポーツシューズ開発で培った技術を応用し、履きやすさと歩きやすさを追求している



健康快適事業領域

## ワークプロダクト

1990年にスタート。

安全性はもちろんのこと、スポーツでつちかった知的技術を活かした快適性やデザインで現場を支える。

「滑りにくい」、「つまずきにくい」と、働く現場で高い評価を得ている作業用靴や、多忙な日々を送る医療従事者に向けたシューズなどを展開。





# 沿革

- 1960 - ローマオリンピック視察後、北米市場を視察
- 1964 - 東京オリンピックで多くの海外選手にシューズ提供
- 1972 - アメリカ駐在事務所（シカゴ）を開設
- 1975 - ドイツにオニツカタイガー GmbH（デュッセルドルフ）を設立
- 1977 - **3社合併により株式会社アシックス誕生**  
ジエレンクU.S.A.,Inc.を引き継ぎ、アシックス スポーツ オブ アメリカ Inc.とする
- 1979 - ペルーに中南米駐在事務所（リマ）を開設
- 1984 - アシックスタイガーブラジル（サンパウロ）を設立
- 1986 - アシックスタイガーオセアニアLATY.LTD.（シドニー）を設立
- 1994 - 欧州の統括会社としてオランダにアシックスヨーロッパB.V.を設立
- 2006 - 中国における販売体制強化のため、愛世克私商貿有限公司を設立
- 2008 - 東欧における販売体制強化のため、アシックスロシアを設立
- 2010 - アウトドア事業強化拡大のため、ホグロフスホールディングABを買収、連結子会社化
- 2014 - 東南アジアでの販売体制強化のため、アシックスアジアPTE.LTD（シンガポール）を設立
- 2016 - デジタルマーケティングによるDTC戦略強化のため、FitnessKeeper社を買収、連結子会社化
- 2018 - 代表取締役社長COOに廣田康人が就任。尾山基は代表取締役会長CEOとなり、新体制になる



創業者鬼塚喜八郎  
ローマオリンピックにて

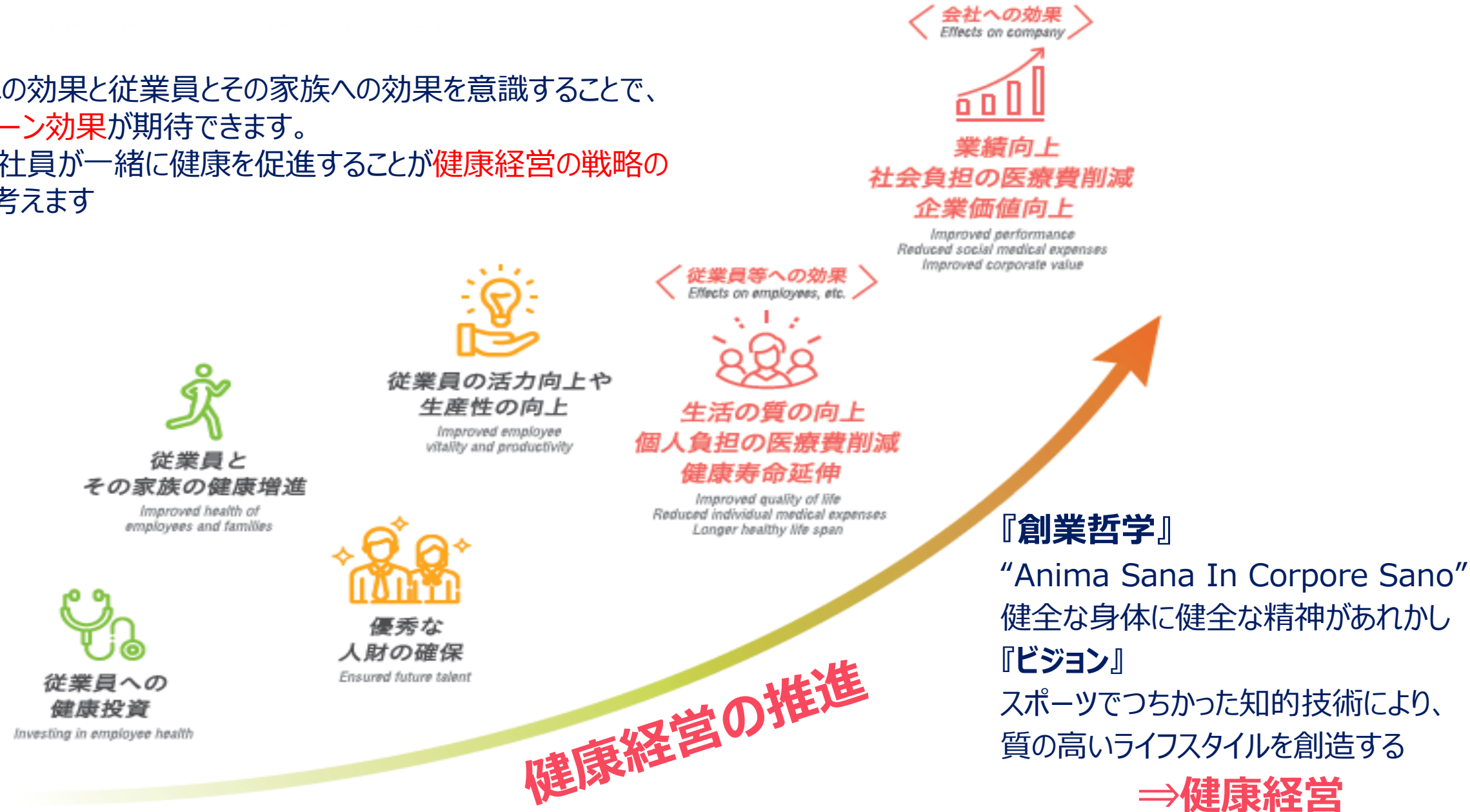
# AGENDA

1. アシックスグループの概要
2. アシックスの健康経営
  - ・概要
  - ・取り組み

# アシックスの健康経営の考え方

会社への効果と従業員とその家族への効果を意識することで、より**リターン効果**が期待できます。

会社と社員が一緒に健康を促進することが**健康経営の戦略の一つ**と考えます



# アシックスの健康経営の考え方

## 健康経営

- ・心身のバランス
- ・企業理念の醸成

**社員の生活の質の向上、健康寿命の延伸**

ex.)メンタルヘルス、フィジカルヘルス、受動喫煙防止

## 従業員のエンゲージメント向上

- ・イキイキと働ける環境を実現

**社員の熱意を引き出す**

ex.)エンゲージメントサーベイの実施、  
現場レベルのアクションプラン、キャリア面談

## 働き方改革

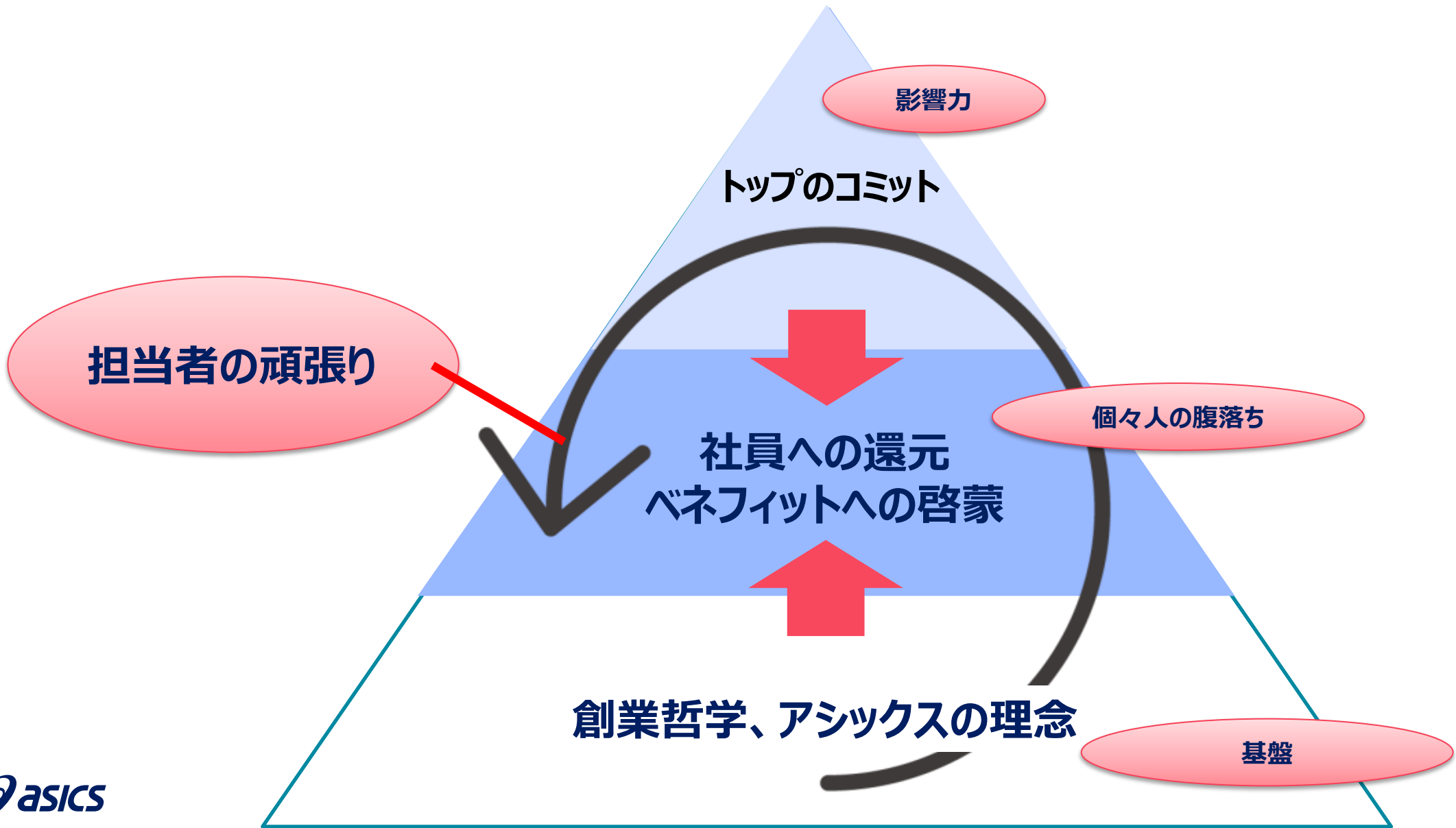
- ・多様な人財が最大限能力を発揮できる制度・環境の整備
- ・ワーク・ライフ・バランスの充実

**社員が自律的に働く  
計画的・効率的に業務を遂行**

ex.)フレックスタイム、ゆう活  
部下への権限委譲、在宅勤務トライアル



# 健康経営活性化のポイント



# AGENDA

1. アシックスグループの概要

2. アシックスの健康経営

- ・概要

- ・取り組み

# 国の課題

## 超高齢化社会

- ✓ 社会保障費の増加による財政の圧迫
- ✓ 生産年齢人口の減少による労働力の低下
- ✓ 介護離職による労働力の更なる低下

## 国民の健康寿命の延伸、あるべき医療費・介護費の実現！

### 企業

**健康経営**、働き方改革（ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティなど）

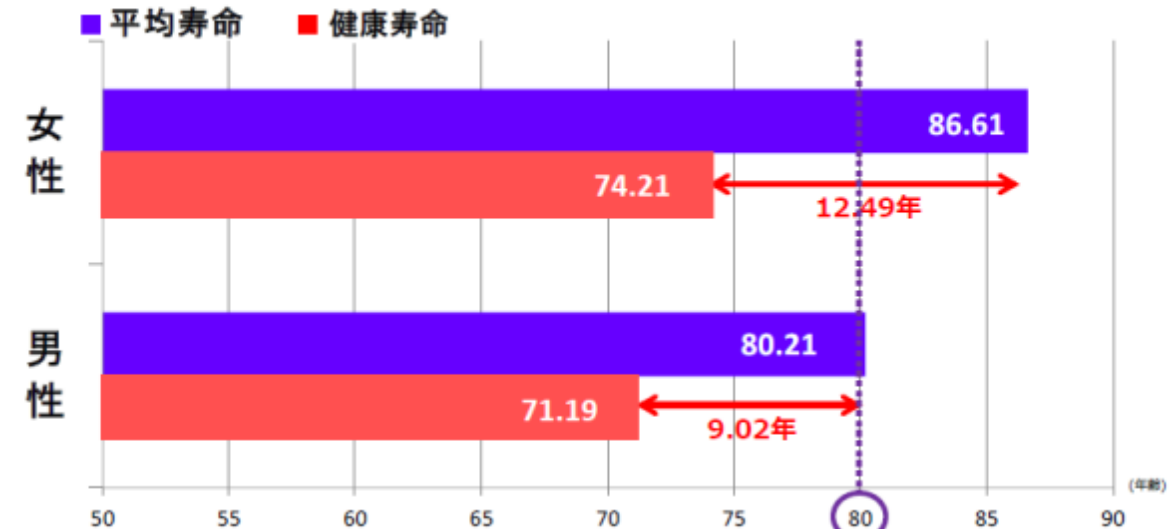
### 保険者

データヘルス計画、コラボヘルス、特定健診、特定保健指導

### 個人

就労時の健康づくりや重症化予防などの**健康投資**

【日本の平均寿命と健康寿命】



出典：平成27年版高齢社会白書

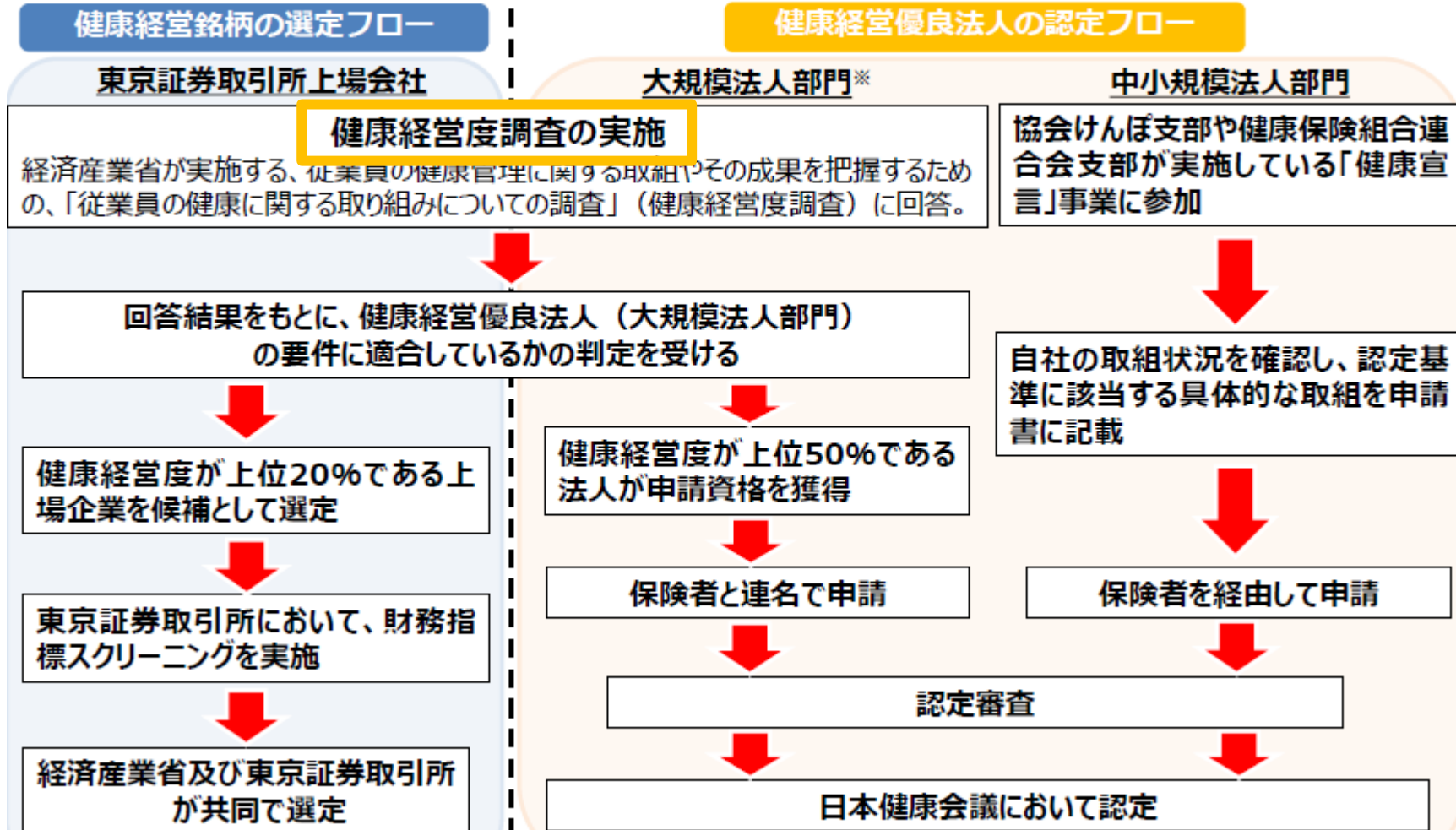
出典：経済産業省

# 健康経営とは？

# 健康経営に係る顕彰制度について

## 「健康経営銘柄」「健康経営優良法人認定制度」の選定(認定)フロー

- 健康経営銘柄の選定、健康経営優良法人の認定を受けるには以下のステップが必要となる。



\* 33業種毎1社の選定(最大で33社となるが、該当企業がない場合、その業種からは非選定)。

※常時使用する従業員の数が①卸売業:101人以上 ②小売業:51人以上 ③医療法人・サービス業:101人以上 ④製造業その他:301人以上の法人を「大規模法人」とする

26

# 選定要件とフレームワーク

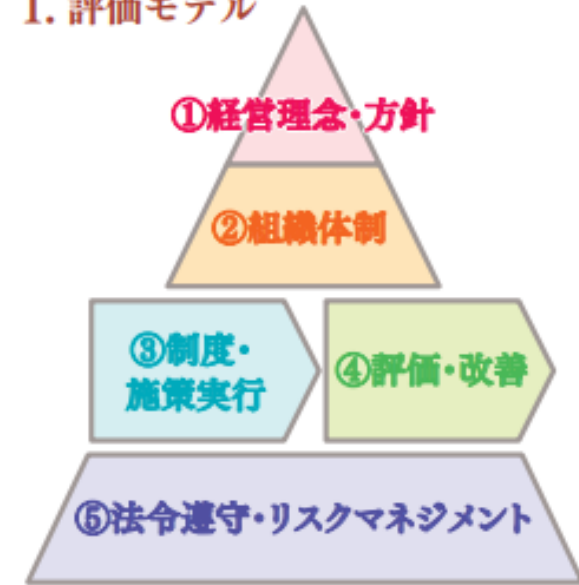
## <健康経営度調査>

経営から現場まで各視点から健康の取り組みが行われているかを評価

- ①「健康経営が経営理念・方針に位置づけられているか」
- ②「健康経営に取り組むための組織体制が構築されているか」
- ③「健康経営に取り組むための制度があり、施策が実行されているか」
- ④「健康経営の取り組みを評価し、改善に取り組んでいるか」
- ⑤「法令を遵守しているか」

- ・受動喫煙対策に関する取り組み
- ・生活習慣病予備群者への特定保健指導以外の保健指導
- ・健康保持・増進やメンタルヘルスに関する教育
- ・各施策の参加率（実施率）を測っていること
- ・女性の健康保持・増進に向けた取り組み

## 1. 評価モデル



大項目	中項目	小項目	評価項目	選定要件	
1. 経営理念(経営者の自覚)				健康宣言の社内外への発信(アニュアルレポートや統合報告書等での発信)	必須
2. 組織体制					
		経営層の体制	健康づくり責任者が役員以上	必須	
		保険者との連携	健保等保険者と連携	必須	
3. 制度・施策実行	従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	健康課題の把握	①定期健診受診率(実質100%) ②受診勧奨の取り組み ③50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施	左記①～④のうち12項目以上	
		対策の検討	④健康増進・過重労働防止に向けた具体的目標(計画)の設定		
	健康経営の実践に向けた基礎的な土台づくりとワークエンゲイジメント	ヘルスマタラシーの向上	⑤管理職または従業員に対する教育機会の設定 ※(従業員の健康保持・増進やメンタルヘルスに関する教育)については参加率(実施率)を測っていること		
		ワークライフバランスの推進	⑥適切な働き方実現に向けた取り組み		
		職場の活性化	⑦コミュニケーションの促進に向けた取り組み		
		病気の治療と仕事の両立支援	⑧病気の治療と仕事の両立の促進に向けた取り組み(診を除く)		
	従業員の心と身体の健康づくりに向けた具体的対策	保健指導	⑨保健指導の実施および特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み ※(生活習慣病予備群者への特定保健指導以外の保健指導)については参加率(実施率)を測っていること		
		健康増進・生活習慣病予防対策	⑩食生活の改善に向けた取り組み ⑪運動機会の増進に向けた取り組み		
		感染症予防対策	⑫女性の健康保持・増進に向けた取り組み		
		過重労働対策	⑬従業員の感染症予防に向けた取り組み		
メンタルヘルス対策		⑭長時間労働者への対応に関する取り組み			
受動喫煙対策		⑮メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み			
取り組みの質の確保	受動喫煙対策に関する取り組み				
4. 評価・改善					
	取り組みの効果検証	産業医または保健師が健康保持・増進の立案・検討に関与	健康保持・増進を目的とした導入施策への効果検証を実施	必須	
5. 法令遵守・リスクマネジメント					
			健康保持・増進を目的とした導入施策への効果検証を実施	必須	
			定期健診を実施していること(自主申告)		
			健保等保険者による特定健康診査・特定保健指導の実施(自主申告)		
			50人以上の事業場におけるストレスチェックを実施していること(自主申告)	必須	
			従業員の健康管理に関する法令について重大な違反をしていないこと(自主申告)		

# 健康経営度調査 回答状況2019

## 健康経営度調査過去5年間の推移

平成30年度の回答企業数は1,800社となり、前年度から約1.5倍、初年度から約3.7倍に増加しています。健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定が始まった平成28年度から非上場企業の回答数も着実に増加傾向にあり、今年度は未上場企業の回答が上場企業回答数を超え、健康経営の裾野が広がってきていることがうかがえます。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調査期間	平成26年10月24日 ～12月5日	平成27年9月25日 ～11月13日	平成28年8月26日 ～10月7日	平成29年8月25日 ～10月13日	平成30年8月24日 ～10月12日
国内全上場企業数	3,561社	3,605社	3,640社	3,676社	3,740社
上場企業回答数	493社	567社	610社	718社	859社
未上場企業回答数	0社	6社	118社	521社	941社
回答企業数合計	493社	573社	726社	1,239社	1,800社

# 「健康経営銘柄2019」選定企業

銘柄コード	企業名	業種	備考
1332	日本水産	水産・農林業	初選定
1820	西松建設	建設業	初選定
2432	ディー・エヌ・エー	サービス業	初選定
2802	味の素	食料品	3回目
3591	ワコールホールディングス	繊維製品	4回目
3880	大王製紙	パルプ・紙	初選定
4452	花王	化学	5回目
4507	塩野義製薬	医薬品	4回目
4543	テルモ	精密機器	5回目
4689	ヤフー	情報・通信業	初選定
4902	コニカミノルタ	電気機器	4回目
5020	JXTGホールディングス	石油・石炭製品	初選定
5195	バンドー化学	ゴム製品	3回目
5332	TOTO	ガラス・土石製品	5回目
5411	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2回目
5801	古河電気工業	非鉄金属	初選定
6146	ディスコ	機械	初選定
6448	ブラザー工業	電気機器	2回目
6645	オムロン	電気機器	初選定
6856	堀場製作所	電気機器	初選定
6902	デンソー	輸送用機器	3回目
7511	キヤノン	電気機器	初選定
7936	アシックス	その他製品	2回目
8000	キヤノンマーケティングジャパン	卸売業	2回目

8252	丸井グループ	小売業	2回目
8379	広島銀行	銀行業	初選定
8411	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2回目
8566	リコーリース	その他金融業	3回目
8601	大和証券グループ本社	証券、商品先物取引業	5回目
8630	SOMPOホールディングス	保険業	初選定
8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	初選定
8766	東京海上ホールディングス	保険業	4回目
8860	フジ住宅	不動産業	3回目
9005	東京急行電鉄	陸運業	5回目
9502	中部電力	電気・ガス業	初選定
9687	KSK	情報・通信業	初選定
9719	SCSK	情報・通信業	5回目

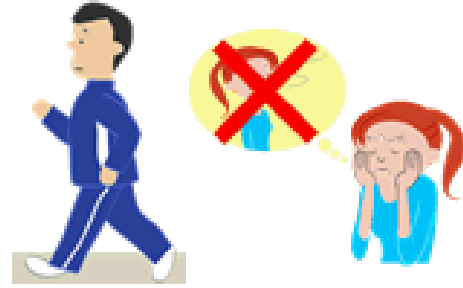
＜健康経営銘柄2019＞  
28業種 37社が選定

＜健康経営優良法人(ホワイト500)＞  
大規模法人部門：818法人  
中小規模法人部門：2502法人



ちなみに・・・福岡県のみやま市役所が健康経営優良法人＜大規模法人部門＞に認定










## アシックスの健康経営の取組み



# 変遷

年	TOPICS	顕彰
1988	・アシックス診療所開設 (産業医・看護師常駐)	
2001	・健康管理室開設 (2002年～メンタルヘルス活動開始)	
2008	・健康推進室に改名 (健康管理だけではなく健康推進活動へ)	
2015	・健康経営銘柄2015(初回)選定 ・がん対策推進パートナー 就労部門 受賞	 <b>健康経営銘柄</b> Health and Productivity
2017	・ASICS Well-being体制開始 ・健康経営宣言発信	
2018	・健康経営優良法人(ホワイト500)認定 ・DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付 総合スポーツ用品メーカーで初めて「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランク格付取得	 2018 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500  <b>DBJ健康格付</b> 2017
2019	・健康経営銘柄2019選定 ・スマートミール認証 ・第2回健康づくりチャレンジ企業アワード 最優秀賞(知事賞)受賞	 <b>健康経営銘柄 2019</b> Health and Productivity  <b>Smart Meal</b> スマートミール



# ① 経営理念・方針

社内外に対して健康経営に対する取り組みを示す健康宣言を発信



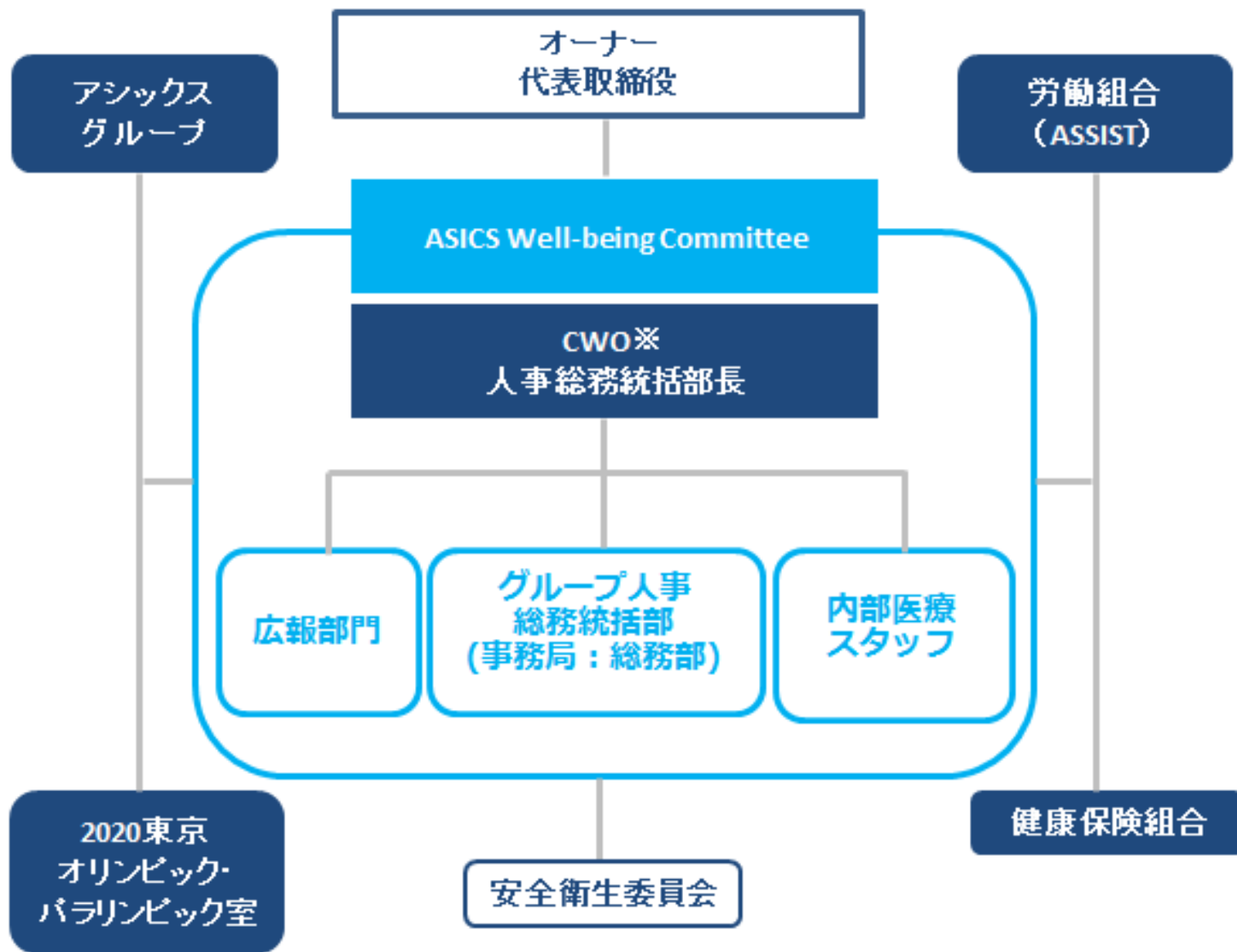
## ASICS 健康経営宣言

当社の社名は「もし神に祈るならば、健全な身体に健全な精神があれかし、と祈るべきだ」という古代ローマ風刺作家ユベナリスの言葉に由来します。アシックスはその願いを体現する企業として、従業員が身体的、精神的および社会的に健康であるべきだと考えます。

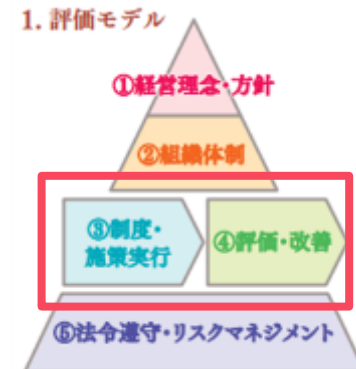
ここにASICS 健康経営宣言をします。

**「アシックスは、従業員とその家族の “Well-being（身体的・精神的・社会的に良好である状態）” を目指し、健康推進活動を行なっていきます」**

## ②組織体制



## ③ 施策実行 ④ 評価・改善



	Q1	Q2	Q3	Q4
オーナー (COO)		【オーナー報告】		【オーナー報告】
CWO (Chief Well-being Officer)	【CWO報告】		【CWO報告】	
ASICS Well-being committee	【週1回MTG】			
アシックスグループ°	【G会社MTG】		【G会社MTG】	

### ▼ 施策の三本柱



sound mind  
～健全な精神～

メンタルヘルスケア



sound body  
～健全な身体～

フィジカルヘルスケア



Smoke-Free  
～受動喫煙のないオフィス～

スモークフリー施策

# メンタルヘルスケア

## メンタル課題の早期発見解決

- ・セルフケア、ラインケア
- ・医療スタッフ・産業医、外部EAPによるケア

<メンタルヘルスの4つのケア>



### ▼研修実施

- ・セルフケア（全社員）



- ・ラインケア（全管理職）



### ▼社員面談



### ▼EAP / Employee Assistance Program (従業員支援プログラム)



#### 良かったこと

- ・社員のささいな変化や健康面の課題の早期発見

#### 苦労したこと

- ・社員と産業保健スタッフのつながり



# スモークフリー



## 2019年1月より事業場内完全禁煙

# 「スモークフリー」開始！

### ▼社長メッセージ

廣田 康人代表取締役社長COOコメント (2018年8月27日掲示板より)

President and COO, Representative Director - Yasuhiro Hirota (August 27th 2018 Bulletin board)



この度、アシックスグループ全社において、2019年1月よりスモークフリーを実施することに決定いたしました。たばこには、がんとの関連性をはじめとし、様々な健康被害があるといわれており、喫煙者はもちろん、家族や友人、同僚などの周囲の人々も受動喫煙によって健康被害を受けます。社会では、望まない受動喫煙をなくすことを目的に、7月18日受動喫煙防止法が成立しました。また、世界保健機関 (WHO) や国際オリンピック機構 (IOC) は、「たばこのないオリンピック」を目指しています。2020オリンピック・パラリンピックゴールドパートナーとして、スモークフリーな世界と、私たちの創業哲学『健全な身体に健全な精神があれかし』にもあるように、一人ひとりが健康増進や、より良い職場環境づくりに取り組んで行くことで、更なるWell-being (身体的・精神的・社会的に良好である状態) を目指していきたいと思っております。

We had decided what ASICS group will start "smoke-free" from January 2019. It is said that Tobacco relates cancer or any other health damage. And not only smokers, but also their family, friends, co-workers, or any other related people might have health damage with passive smoke. In social, Passive Smoking Prevention Act gained legal strength to eliminate unwanted passive smoking. Also, WHO and IOC are aiming for "tobacco-free Olympic". As a member of company Gold partner, we will aim for "tobacco-free Olympic" environment. Healthy company. Let's aim for "Well-being".

**トップダウンの  
重要性**

### ▼卒煙サポート (セミナー)



- ・喫煙の体への影響
- ・呼気CO2チェック
- ・卒煙の方法紹介
- ・ニコチンガム提供
- ・卒煙宣言
- ・卒煙ラリー紹介

#### 良かったこと

- ・社長からのトップダウンにより推進が、よりスピーディに！

#### 苦労したこと

- ・喫煙者へのサポート体制の構築

# 食習慣改善プログラム



## SANA LUNCH

！アスリート飯/Athlete Meshi！

食堂業者とコラボして提供

1日の3分の1を過ごす会社、  
毎日会社で摂る**昼食**から食生活を変えていこう！

### 例) 3月テーマ『腸活』

腸活とは、腸内環境を整えることで腸本来の機能を活性化させることを指します。  
身体本来のデトックス機能を高め、便秘や肌荒れの改善、免疫力向上や肥満防止にもつながります。

500kcal台をベースに、下記を取り入れたメニューを開発しています！

- ・食物繊維を1日の3分の1以上（6.7g）
- ・発酵食品を2種類以上使用

<b>25(Mon) Balance Set</b> <b>558kcal/食物繊維6.7g！</b> ・鶏肉の香ばし押麦みそ焼き ・さつまいもとリンゴのサラダ ・小松菜のピーナッツ和え	<b>26(Tue) 小鉢強化DAY</b> <b>発酵食品強化！</b> ・さつま揚げの生姜醤油煮 ・お豆と野菜のヨーグルト和え ・長芋とオクラのおかか和え
<b>28(Thu) 健康DELI DAY</b> <b>発酵食品強化！</b> ・鶏肉のチーズパン粉焼き ・サバのキムチ煮 ・野沢菜とベーコンの スパゲティ	<b>29(Fri) Balance Set</b> <b>595kcal/食物繊維10.1g！</b> ・グリンホークのパルサソース ・インゲンのなめ茸和え ・レンコンの梅和え <b>■ヤクルトセット</b>



《牛肉と野菜のテンメンジャン炒め》



# 食習慣改善プログラム

## スマートミール認証（アシックス神戸本社）

### 第2回「健康な食事・食環境」認証制度

認証基準に適合した食事（スマートミール※1）を、継続的かつ健康的な環境（栄養情報の提供や受動喫煙防止等に取り組んでいる環境）で提供している外食、中食、給食部門

1	エネルギー量は、1食当たり450～650 kcal未満（通称「ちゃんと」）と、650～850 kcal（通称「しっかり」）の2段階とする。
2	料理の組み合わせの目安は、①「主食+主菜+副菜」パターン ②「主食+副食（主菜、副菜）」パターンの2パターンを基本とする。
3	PFCバランスが、食事摂取基準2015年版に示された、18歳以上のエネルギー-産生栄養素バランス（PFC%E；たんぱく質13～20%E、脂質20～30%E、炭水化物50～65%E）の範囲に入ることとする。
4	野菜等（野菜・きのこ・海藻・いも）の重量は、140g以上とする。
5	食塩相当量は、「ちゃんと」3.0 g未満、「しっかり」3.5 g未満とする。
6	牛乳・乳製品、果物は、基準を設定しないが、適宜取り入れることが望ましい。
7	特定の保健の用途に資することを目的とした食品や素材を使用しないこと。

※1「スマートミール」とは

健康に資する要素を含む栄養バランスのとれた食事（主食・主菜・副菜のそろった食事）を指します。「健康な食事・食環境」コンソーシアムが認証



**良かったこと**

・食堂業者の積極的な協力

**苦労したこと**

・1回きりのイベントで終わらせない

# イベント・セミナー実施



全社員を対象に健康に関する調査を行い、健康課題に対して社内で運動イベントや健康セミナーを開催

## 2019年課題：睡眠、腰痛・肩こり、口腔衛生

### ◆睡眠（情報発信）

[English follows Japanese] 2019年7月22日 ASICS Well-being committee

名称 [Well-being : sound body]

-寝苦しい日の睡眠のとり方-

梅雨明けとともに熱帯夜という寝苦しい季節がやってきますね。十分な睡眠がとれないと疲れが解消できず、夏にこの季節は熱中症を引き起こす要因にもなります。そんな日でも上手に睡眠のとれるポイントをご紹介します！

【快適な睡眠のメカニズム】  
睡眠の前半では体温が低下するとともに睡眠が深くなっていきます。そして睡眠の後半にかけて徐々に体温が上昇し、朝覚めます。

日本の夏は高温多湿で入眠時の体温も下がりにくく、汗も蒸発しにくくなるため、寝苦しい夏の工夫がポイントになります。

- 【ポイント①クーラーの活用】
- 室温が26℃になるように設定する。（※クーラーの設定温度ではなく、室温計での温度を参考）
  - 就寝の2〜3時間前からクーラーで部屋全体を冷やす。（※寝室内の湿気や臭いが冷えていけばOK）
  - 就寝時にはタイマー機能を利用し、1〜2時間で切れるようにする。
- ！注意！ 一晩中のクーラーの利用で身体が冷えすぎてしまうことで、朝覚めに合わせて十分に体温が上がらないうちに起きると体調のたるさを引き起こしてしまいます。
- 【ポイント②扇風機、氷枕の活用】
- 扇風機を利用する際は、身体が冷えすぎを防ぐために通風機が部屋に向けて遠く全体を動かすイメージで利用するとGOOD（※クーラーと同様、タイマー機能を利用し、起床の準備が完了するまで）

- あなたの睡眠はどうですか？
- 自分の睡眠について知りましょう
- 日中の眠気について
- 寝付けないとき
- 睡眠と生活習慣病の関係
- 寝苦しい日の睡眠のとり方
- お風呂と睡眠の関係

### ◆腰痛・肩こり（Well-be シートの設置）



### ◆口腔衛生（事業場内歯科検診）



- 歯科定期健診の重要性を再確認
- 早速、歯医者への予約をとった
- フロスを使い始めた



# イベント・セミナー実施



## ◆ゴルフイベント



## ◆自転車メーカーと タイアップイベント



## ◆運動セミナー



## ◆ヨガイベント



**アンケートを実施することで、課題や反省点を分析！次回につなげる！**



# イベント・セミナー実施



## ◆食事セミナー



## ◆特定保健指導の事業場内実施

特定健診の結果、特定保健指導の対象者には、社内で受診可能

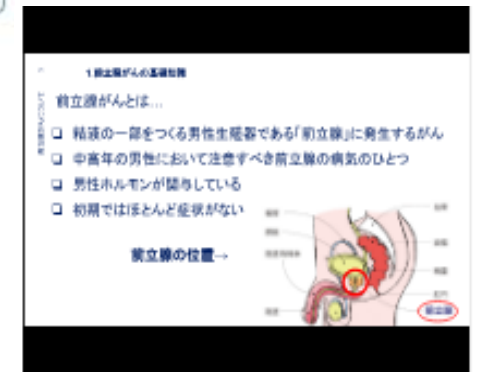


## 《基礎知識習得》

### ◆乳がんセミナー



### ◆前立腺がん (e-ラーニング)



### 良かったこと

- ・実際の課題へのアプローチ
- ・意識付け、機会の創出

### 苦労したこと

- ・興味持ってもらえる内容をテーマにする
- ・参加者が同じ人になってくる
- ・無関心層へのアプローチ

# 数値の見える化

## ASICS Well-being report 発行

TOPメッセージや健康経営関連KPI数値の進捗、今後実施される施策を紹介

**良かったこと**  
 ・社内外への周知、見える化

**苦労したこと**  
 ・コンテンツ作り



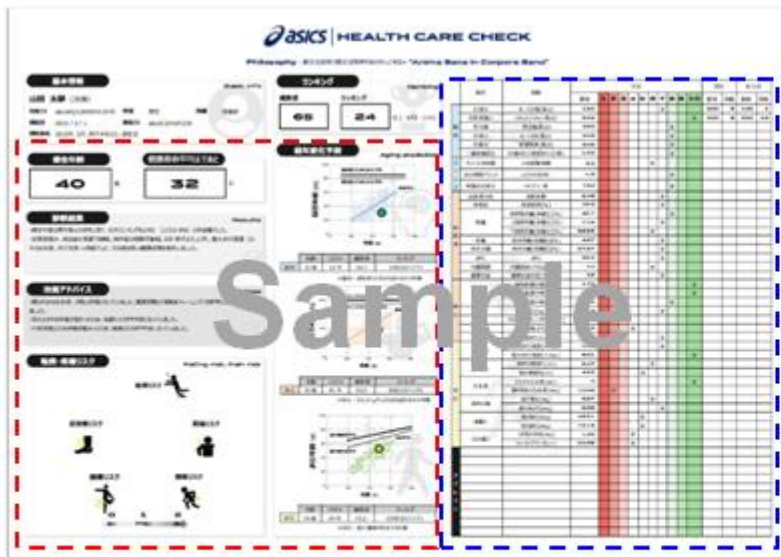


## 今後の課題

- 更なる経営層を巻き込んだ健康経営の推進
- PDCAサイクルを確実にまわす
- データヘルスの活用
- コラボヘルス（保険者との連携/医療費削減）
- ヘルスリテラシーの向上
- アシックスグループでの健康経営推進
- グローバルでの展開
- …etc

少し、アピール・・・

# 企業向け健康増進プログラム 「ASICS HEALTH CARE CHECK」



1. 心身の健康状態の測定

2. 将来の健康寿命の予測

3. 健康増進プランの提供

## 最後に・・・

### スポーツマン精神

1. スポーツマンはルールを守る
2. スポーツマンはフェアプレーの精神に徹する
3. スポーツマンは絶えずベストを尽くす
4. スポーツマンはチームの勝利のために闘う
5. スポーツマンは能力を高めるために常に鍛錬する
6. スポーツマンは、

「ころんだら、起きればよい。失敗しても成功する までやればよい。」



**心身ともに健康で、明るい従業員が、  
世界で活躍する企業を目指して参ります！**

Thank you!

